

# 耐塩害用耐熱塗装仕様書

## 200℃ (Z-468・GX)

### ▼吹付塗装

工程	使用材料	希釈率 (wt%)	標準膜厚 Dry(μm)	塗布量 (g/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	被塗物の赤錆・黒皮はディスクサンダー・サンドブラスト・ワイヤーブラシ等にて除去する。 (2種ケレン以上)				
前処理	GX用シンナー（専用シンナー）にて拭き取り、油分汚れを除去する。				
塗装(1回目)	Z-468-200 グレー	10~15%	35~45	210~250	1時間以上
塗装(2回目)	GX-200 シルバー	5~10%	15~25	140~160	1時間以上
塗装(3回目)	GX-200 シルバー	5~10%	15~25	140~160	—

### ▼刷毛塗装

工程	使用材料	希釈率 (wt%)	標準膜厚 Dry(μm)	塗布量 (g/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	被塗物の赤錆・黒皮はディスクサンダー・サンドブラスト・ワイヤーブラシ等にて除去する。 (2種ケレン以上)				
前処理	GX用シンナー（専用シンナー）にて拭き取り、油分汚れを除去する。				
塗装(1回目)	Z-468-200 グレー	0~5%	35~45	180~210	10~12時間以上
塗装(2回目)	GX-200 シルバー	0~5%	15~25	120~140	6時間以上
塗装(3回目)	GX-200 シルバー	0~5%	15~25	120~140	—

### ＜備考＞

※上塗りは1回で厚膜にならないように、必ず2回塗りで仕上げてください。

※上記塗装仕様は塗装環境20℃の標準値の為、気温や施工時の環境で変動します。

※焼付乾燥=セット時間15分以上(20℃)の乾燥時間を設けた後に150℃×30分(硬化乾燥)

### 施工上の注意

- 1) 材料は、よく攪拌して使用すること。
- 2) 他の材料との併用混合は絶対に避けること。
- 3) 使用器具の洗浄・塗料の希釈は専用シンナーを使用すること。
- 4) 溶接箇所は、溶接完了後12時間以上、自然放置し塗装すること。
- 5) スプレー吹付の場合は、ノズル口径1.0~1.2mmφ 圧力0.45MPaとすること。
- 6) 膜厚・塗布量は標準値です。塗装物の形状・素地の状態、塗装方法、被塗物温度、希釈率により幅を生じ、膜厚・塗布量は増減します。